

第333号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 大規模地震時医療活動訓練に当会が参画!! 続報 ..... 1
- 平成29年度大規模地震時医療活動訓練に参加して・《各部局報告》・平成29年度 第23回兵庫県医学検査学会開催について ..... 2~3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《会員グルメ情報》・第35回西播地区研究発表会・第7回医療公開講座・第4回西播地区研修会 ..... 6~7

## 大規模地震時医療活動訓練に当会が参画!! 続報

(6) 2017年8月21日(月曜日)

THE MEDICAL&amp;TEST JOURNAL

(第3種郵便物認可)

第1398号

Report

内閣府

### 兵庫で大規模訓練、「南海トラフ」に備え

#### 臨床検査技師が参加 日臨技も支援

内閣府による2017年度大規模地震時医療活動訓練が7月29日、兵庫県内で行われた。南あわじ市では患者搬送機能を備えた臨時医療施設(SCU)が設営され、医療活動の調整員に臨床検査技師も参加した。生化学や凝固、血液ガス、輸血などの検査が行われ、大規模災害時の医療活動に臨床検査技師や検査機器の重要性が確認された。

南海トラフ地震により三重、和歌山、大阪、兵庫の各府県に甚大な被害が想定されることから、この4府県で大規模な訓練が行われた。兵庫県下では、DMAT(災害急性期医療チーム)や日本赤十字社兵庫県支部のほか、兵庫県医師会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫県薬剤師会などが参加し、行政職員を含め約1000人規模となった。

訓練は、大阪国際空港や但馬空港など4カ所にSCUを設置し、ほかにDMATの活動が神戸大学医学部附属病院など5病院で実施された。

神戸市中央区の県庁内に調整本部が設置され、DMATやドクターヘリなどの活動が報告され、兵臨技の中町祐司会長、井垣歩副会長、坂本秀生理事や日臨技職員が活動を支援した。

#### 仮設診療所を設置し訓練

南あわじ市は、近隣の県立淡路医療センターが津波により龍城化、診療皆無地域となることを想定して日赤の仮設診療所(dERU)が設営された。テント内には簡易ベッドが設置され、トリアージで赤や黄色に色分けされた模擬患者が次々と搬送され、医師や看護師などにより診療が行われた。兵臨技から派遣された真田浩一副会長をはじめとする臨床検査技師も診療チームに加わり、検査の提案や実施、本部との連絡、調整を行った。

兵庫県災害医療コーディネーターの安部史生氏(神戸赤十字病院



本部との調整を行う安部氏



日赤の仮設診療所(dERU)



臨床検査技師も活躍

検査部)は、災害医療で臨床検査技師が活動するためには、「まず、チーム医療に加わり、医師や看護師から検査技師がいると認識されることがスタート」と話す。その認識が広まれば、こういった検査をやっても、こういふことができるか聞いてみよう、といったことにつながるという。

また、安部氏は、「災害時であっても、できるだけ日常の診療に近づけることが重要。非日常をいかに日常に近づけた検査ができる環境に持って行くか、それが検査技師の役目」と述べ、緊急時にも検査ができるといった認識を、検査技師が広めていかなければならないとした。さらに「医師や看護師が重傷者の診療に目が行きがちの中で、中等症、軽症といった目が届きにくい傷病者を、より重症化させないような環境をつくることが重要」とも述べ、今後の臨床検査技師

の役割に期待した。

一方、dERUの仮設テント内の気温は約40℃にもなり、多くの検査機器が使用不能になった。安部氏は、「商業用バンの中でエアコンをかけて、カーソケットから電源を取ることで検査ができた」と述べ、屋外で使用する機会が少ない検査機器も、車内等機器使用に想定されていない環境下での使用で検査ができることが確認されたという。

#### 兵臨技、災害時の活動を県に要望

今回の訓練について中町兵臨技会長は、「災害時にも臨床検査が必要

なことから、兵庫県医療課に対して災害時に医療調整本部に兵臨技が加わることを要望し、「了解された」と話す。相談の中で今回の訓練を知り、安部氏を通じて訓練に加わったという。災害時に臨床検査は絶対的に必要であり、兵臨技としても災害時には医療チームに加わるべきと考えている。

また、兵臨技は、兵庫県医師会に対して臨床検査技師がJMATと連携して活動ができるよう要望しているという。中町会長は、「より多くの臨床検査技師が災害医療にも関心を持ってほしい」と述べた。



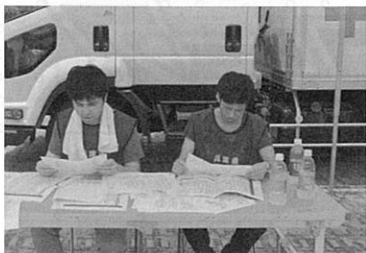
屋外でも迅速に測定



テント内で模擬患者を診療

# 平成29年度大規模地震時医療活動訓練に参加して

濱武 周平 (県立淡路医療センター)



7月29日(土)に行われた平成29年度大規模地震時医療活動訓練に臨床検査技師として参加させて頂きました。南あわじSCU(広域医療搬送拠点)に運ばれてきた患者の採血データを測定し、検査結果を隊員の方に報告するというのが主な役割でした。真夏ということもあり、設置された仮設テント内はたいへん暑く、じっとしていても脱水症状に陥りそうな過酷な状況下、医師をはじめとする、DMAT隊員の方々の機敏な動きが印象的でしたが、初参加の自分はどこにいればいいのかさえ分からず戸惑うばかりでした。しかし、次々やってくる患者の採血オーダーを聞き、検査結果を提出し、パニック値や、基準値と比較してどれだけ変動しているかなどを報告していくうちに、自分の立ち位置や、しなくてはいけないことが徐々に見えてきました。また、隊員の方々とのコミュニケーションが良くなるにつれて、検査結果から考えられる状況の説明や、検査側から「この検査も必要ではないですか」と聞くこともできるようになりました。災害現場に用いられる検査機器も見ることができ大変刺激になりました。ただ今回は炎天下というのもあったためか、機器が正常に作動しなかったのも、機器が正常に作動する環境の確保が重要だと感じました。

最後の総括で、隊員の方から「臨床検査技師がいてくれて、スムーズに動くことができ、たいへん助かったし、今後は臨床検査技師が必要になってくる。」と言葉をいただいたときは、素直にうれしく、参加してほんとに良かったと思いました。普段は検査室からあまり出ることがなく、他職種の方とは電話程度のコミュニケーションですが、今回の訓練では同じ現場で直接話をするのができ、災害時には良好なコミュニケーションが非常に有用かつ必要不可欠なことだと実感しました。この経験を活かし、今後は臨床検査技師としてだけでなく、医療人としてさまざまな場面に貢献できるように頑張りたいと思います。

## 各部局報告

### 学 術

### 病理・細胞検査研修会

(7月22日)

#### ● FISH実技講習会について



山田 寛 (神戸大学医学部附属病院)

平成29年7月22日、明和病院の明和ホールにおいて、兵臨技病理・細胞検査研究班および(株)常光共催で、「FISH実技講習会」をおこないました。

蛍光色素を用いたIn situ hybridizationであるFISHは遺伝子の転座や融合を確認し、その後の治療を左右する重要な検査であり、現在においては免疫染色と共にコンパニオン診断には欠かせない技術となっています。しかしながらコスト面や蛍光顕微鏡など特殊な装置が必要であり、自施設で行っているところはまだ少数です。

今回の講習会では、実際に販売元である常光の学術部の方に来て頂き、目の前で染色の方法やコツ、また注意点など実技を交えて講演して頂きました。

これから導入を考えている施設や導入しているが上手く染まらない施設の方々より、ふだん疑問に思っていることなど率直な意見交換や質疑応答が交わされました。近畿のみならず、遠くは沖縄からの参加者もあり、FISHへの関心の高さをうかがい知ることができました。

今回のように直接メーカーとの講習会では、現場で疑問に思っていることや製品の裏事情(?)なども聞くことができ、それがルーチン業務にも役立ち品質向上の一助になると考えられました。またこのような講習会を開催し、病理検査技師全体の技術向上を目指して行きたいと思います。



## 平成29年度 第23回兵庫県医学検査学会開催について (再案内)

第23回兵庫県医学検査学会はより多くの会員の皆様に参加いただけるよう内容を充実して開催することとなりました。より多くの会員や学生の方々にスキルアップ・教育の場とし、また、学会参加し難い職場環境の皆様にもご参加いただき、日頃の問題点や疑問の解消につなげ、交流を深めていただければと思います。できるだけ多くの皆さまのご参加と演題発表をお待ちしております。

1. 日 程：平成29年12月10日(日) 10:00～

2. 会 場：神戸常盤大学

3. テーマ：前 進 ～Go for it.～

4. 内 容：

○ 特別講演

「認知症の症状と対応のしかた」 古和 久明 教授(神戸大学大学院保健学科)

○ 特別企画

1) 「CT・MRIの見方(仮)」 兵庫県放射線技師会

2) 形態学検査合同実習形式ワークショップ：形態学検査研究班(血液検査、理・細胞検査、微生物検査、一般検査)

「いまさら聞けない!を解決 ～スキルアップして一歩前進～」

○ ミニシンポジウム

1) 日当直、緊急検査に必要な検査について

「日当直業務の不安解消ー このセミナーに参加しよう ～緊急検査スキルアップセミナー～」

2) チーム医療ミニシンポジウム

「とびだせ!検査室!! 新たな検査技師の活動」

3) 医療安全ミニシンポジウム

「事例から学ぼう! 医療安全(仮)」

4) 病理細胞検査研究班 企画

「腫瘍における免疫チェックポイントの話(PD-L1検査を中心に)」

※ 本学会の詳細につきまして、随時兵庫技HP、HYOGOニュース、チラシ等でご案内いたします。



## 会員グルメ情報

## 数珠つなぎ

[8]

中村 真一会員（公立八鹿病院）



今回は、兵庫県北部（但馬地方）からの紹介です。

僕が但馬地方に旅行に訪れた友達を必ず連れて行くところといえば城崎温泉～出石です。城崎温泉には7つの外湯があり温泉のはしごが出来るので、様々な温泉を満喫できます。そして、お風呂に入った後はお腹を満たしに出石へ。出石は約50件もの蕎麦屋さんがならぶ関西屈指の蕎麦処と言われています。そんなたくさんのお蕎麦屋さんの中でも、僕のお気に入りのお店『沢庵』さんを今回は紹介させていただきます。

初めてこのお店を訪れた時、まず雰囲気にはびっくりしました。まるでおしゃれなカフェのような内装やしっとりながれるJAZZ。『ん？ここはお蕎麦屋さんだな？？』と心配になるほどです。でもご安心を。席に着くと、はちまきにエプロン姿の蕎麦屋さんらしいご主人、女将さんがおもてなししてくれます。メニューにはかけそばやぶっかけそばもありますが、やっぱり食べて欲しいのは‘皿そば（1人前5皿）’です。ちょっと足りないかな？？って方は1枚から追加も出来ますので、お腹のへり具合で調節してください。はじめてのお客さんには、店員さんからこだわりの説明があります。『まずは〇〇だけでいただきます、そばの本来の味が楽しめます。そのあとはつゆだけで、あとは軽い薬味から順番にお楽しみ下さい。』と…（〇〇は実際お店に行ってお確認を♪）。僕は毎回10枚程度食べますが、お腹に自信のある方は何枚食べれるかチャレンジしてみるのもいいかも。お腹いっぱいになったら、ほっと落ち着く蕎麦湯をいただき大満足間違い無しです。甘いもの好きなみなさんには沢庵オリジナルの‘そばアイス’も待ってますよ（美味！）。

但馬に来られた際は、ぜひ出石の城下町を楽しみながら皿そばを満喫してみてください。



## 第35回西播地区研究発表会・第7回医療公開講座

7月23日太子町あすかホールで第35回西播地区研究発表会・第7回医療公開講座が開催されました。市民参加者が192名と非常に多くの方に参加して頂けました。地元講師選定・講義内容・回覧（講師施設病院・太子町近隣病院・太子町関連施設の設置）は市民が認知するのに十分な効果があったと考えます。当日資料も講師の先生が理解して頂き、非常に多くの資料（10点程度）を用意して頂けました。また臨床検査技師のパンフも同封したため、検査技師の認知に繋がった講座になったと思われます。今回公開講座にてアンケートをとりましたので、報告いたします。

（組織部：住ノ江理事事業報告書より抜粋）

## 第7回医療公開講座市民参加者 アンケート結果(192名)

性別 男性:25.1% 女性:70.7%  
 年齢 ~50歳:10.2% 60歳代:28.6% 70歳代:53.7% 80歳~:6.1%  
 地域 太子町:89.1% 姫路:2.0% たつの:2.7% 他:1.3%

### Q1. 本日の講習会は、どのような形で知りましたか

1.太子町回覧 2.病院の案内 3.公民館など公共施設 4.口コミ 5.その他  
 79.6% 2.7% 7.4% 4.7% 4.7%

### Q2. 参加しようと思ったきっかけを教えてください

1.講演内容で 2.知っている病院や先生だった 3.近所だった 4.その他  
 76.2% 12.2% 5.4% 7.4%

### Q3. 臨床検査技師は知っていましたか(放射線技師とは異なります)

1.知っていた 2.知っているが仕事は知らなかった 3.知らなかった  
 31.2% 38.0% 28.5%

### Q4. どのような病気で入院・通院されていますか。

今後の医療公開講座の参考にさせていただきます(任意)

眼科・整形・消化器・神経内科・糖尿や高血圧など

※複数回答もあり、合計で100%にはなりません

## お知らせ

### 第4回西播地区研修会

1. 日 時：平成29年11月5日(日) 10:00～13:00(9:45～受付開始)
2. 場 所：太子町あすかホール 2F 研修室 TEL:079-277-2300(代表)  
〒671-1561 兵庫県揖保郡太子町鵜1310-1
3. 内 容：10:00～10:50 司会：牛尾 道弘 先生(公立神崎総合病院)  
「苦手意識を変える不整脈の判読順序 ～基礎編～」  
山下 大樹 先生(赤穂中央病院)  
11:00～11:50 司会：森 隆 先生(姫路中央病院)  
「ホルター心電図をもっと知ろう ～電極装着のコツから報告まで～」  
松井 彰子 先生(県立姫路循環器病センター)  
12:00～12:50 司会：山本 貴久 先生(ツカザキ病院)  
「病態から考える検体検査の見方・考え方 ～心筋マーカー～」  
金子 武行 先生(オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)学術部)  
12:50～13:00 質疑応答・意見交換
4. 参加費：会員：500円、非会員：1,000円 (専門20点)

お知らせ

## 平成29年度 第2回東播地区ナイトセミナー

1. 開催日時 平成29年11月10日(金) 午後6時30分～午後8時
2. 場 所 北播磨総合医療センター 大会議室  
小野市市場町926-250 TEL: 0794-88-8800
3. 内 容 「自己免疫疾患と抗核抗体」  
山下 里美 先生(株医学生物学研究所)
4. 参加費 無 料

※ 東播地区検査技師交流会をナイトセミナー終了後に予定しております。  
多数ご参加下さい。

### 「最先端」をカタチに。

全自動免疫測定装置

# HISCL®-5000 NEW

医療機器製造販売登録番号: 28B2X10007000117

- 全項目17分の反応系で最大200テスト/時の迅速測定
- 化学発光基質CDP-Star®による高感度測定系
- 10~30μL/テストの微量検体
- 連続測定可能なコンティニアスローディングシステム
- 検体搬送ライン接続対応

## HISCL専用試験ラインアップ

肝炎・感染症	HBsAg, HBsAb, HCVAb, TPAb, HTLV-I Ab, HBeAg, HBeAb, HBcAb, HVAIg+Ab, HCVGr, 肝臓癌化マーカー*, HBcIgM*, HAVIgG*
甲状腺	TSH, FT4, FT3, TgAb*, TPOAb*, TRAb*
腫瘍マーカー	AFP, CEA, PSA, CA19-9, CA125, ProGRP, CK19F*, CA15-3*
薬物分子マーカー	TAT, PIC, TM, IPAI-C
内分泌	インスリン, LH*, FSH*, HCG*, E2*, プロラクチン*
心臓マーカー	NT-proBNP, トロポニンT*
その他	フェリチン, SP-A*

\* 開発中(2013年1月現在)



We Believe the Possibilities.

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

製造販売元

シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区臨海海岸1-5-1 〒651-0073  
国内事業推進本部 Tel 078-992-6124

www.sysmex.co.jp

支 店 仙 台 022-722-1710 北 関 東 048-600-3888 東 京 03-5434-8550 名古屋 052-775-8101  
大 阪 06-6337-8300 広 島 082-248-9070 福 岡 092-411-4314  
札 幌 011-700-1090 盛 岡 019-654-3331 長 野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266  
千 葉 043-297-2701 静 岡 054-237-4815 金 沢 076-221-9363 京 都 075-801-3196  
神 戸 078-251-5331 高 松 087-823-5801 岡 山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

